



# 高輪だより

令和7年度6月号  
港区立高輪幼稚園  
園長 佐々木勝世

わくわく ぽかぽか  
みんなえがおの  
たかなわようちえん



## 幼児期の遊び＝学習

去る5月17日(土)の『高輪タイム』では、保護者の皆様に、子どもたちの日頃の遊びや生活の様子を見ていただいたり、一緒に遊んだりしていただきました。子どもたちはもちろん、保護者の皆様の笑顔もたくさん見られて、うれしい一日でした。

さて、幼稚園では、「遊びを中心とした総合的な指導」を通して、子どもたちを育てています。幼児期の遊びは、学習であるとも言えます。しかし、「遊び＝学習」と言われても、なかなかピンとこないかもしれません。

では、そもそも幼稚園での「遊び」とは、いったいどのようなものなのでしょうか。考え方はいろいろありますが、私の考えをここで紹介します。

遊びとは…主体的な「**自己決定**」と「**問題解決**」の繰り返しによる「**自己実現**」の営み

幼稚園での遊びは、「あなたは今からこれをしなさい」などと、誰かに与えられるものではありません。子どもたちが自分で見付けたら、考えたりして創り出すものです。

何をして遊ぶか、誰と遊ぶか、どこに場をつくるか、何をを使うか、どんな方法をとるかなどは、全て**自分で選び、決定**します。

やりたいと思ったことが、いつもうまくいくわけではありません。作り方が分からない、一緒に遊ぶ友達と意見がぶつかる、でも自分一人だけでは難しいなど、遊びの中では様々な問題に直面します。それらの**問題を試行錯誤しながら解決**していきます。そして、解決の過程で様々な気付きを得たり、友達と考えを伝え合い、力を合わせることを経験したりします。

そして、あきらめずに自分の**思いが実現**できたときには、やった！楽しかった！またやりたい！今度はもっとこういうふうにしてみよう！などと、自信と満足感、更なる意欲をもちます。

これらの経験は、小学校以降の学習に向かう姿勢、さらには「人生をどう生きるか」に直結するものであり、まさに「**重要な学習**」であると言えます。

本園では、遊びを中心とした幼児期にふさわしい生活を通して子どもたちに、「自分のよさや可能性を信じ、多様な人々と協働しながら豊かな未来社会を切り拓くことができる力の基礎」(文部科学省幼稚園教育要領前文を基に編集)を育ててまいります。

園長 佐々木 勝世



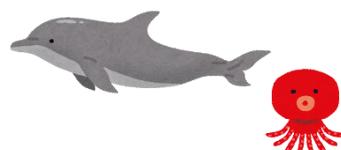
高輪タイムでは、おうちの方と触れ合って遊びました。



4、5歳児は、遠足でしながわ水族館に行き、様々な生き物を見てきました。



遠足後、イルカショーを再現して遊ぶ5歳児。4歳児がお客さんとして見に来ました。



高輪幼稚園では、子どもたちの生活の様子や、その中にある「学び」について、積極的に発信しています！

【ホームページ】 <https://takanawa-kg.minato-tky.ed.jp>

【X(エックス)】 <https://x.com/takanawakg>



ホームページ



Xエックス